

# ふくおかの経済

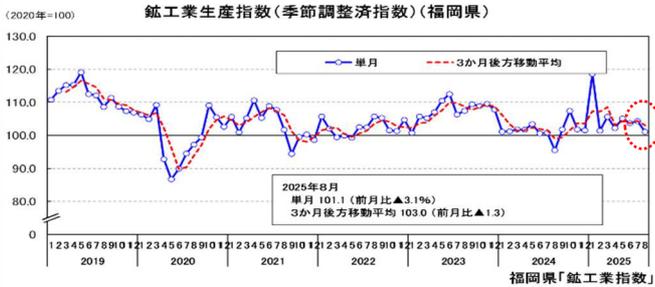
令和7年10月号



## 生産 持ち直しの動きがみられる。

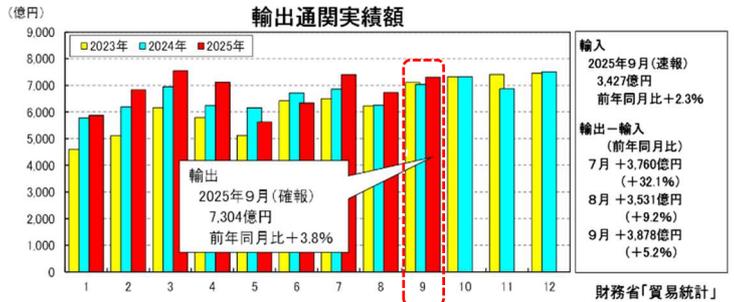
8月の生産指数は、鉄鋼業、輸送機械工業などが低下したため、2か月ぶりに前月を下回りました。

鉱工業生産指数は、2020年の生産水準を100として、その変化を表しています。



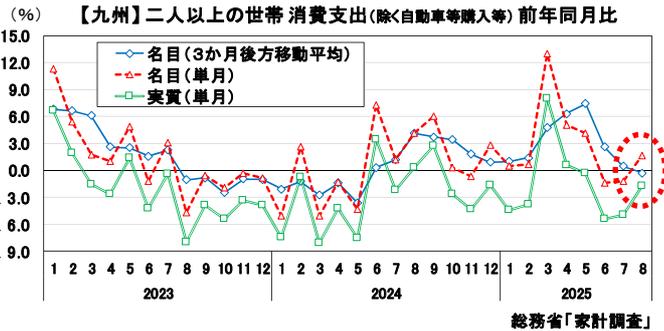
## 貿易 輸出額、輸入額ともに、前年同月を上回っている。

9月の輸出額は前年同月比+3.8%、輸入額は同+2.3%と、いずれも前年同月を上回りました。



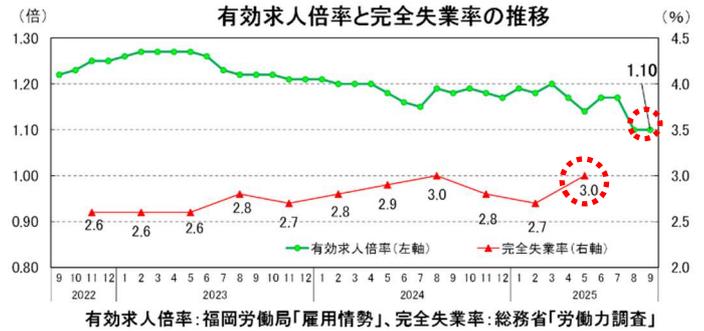
## 消費 物価上昇の影響等により、回復に足踏みがみられる。

8月の消費支出は、物価変動の影響を除いた『実質』で4か月連続で前年同月を下回りました。『名目』(3か月移動平均)でも15か月ぶりに前年同月を下回りました。



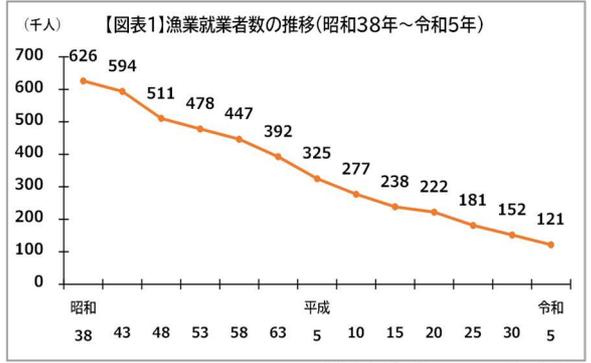
## 雇用 雇用情勢は、持ち直しの動きが弱まっている。

9月の有効求人倍率は1.10倍で、前月と同一となりました。4-6月の完全失業率は3.0で、3期ぶりに上昇しました。「仕事を探している人の数」に対する「企業の求人数」の割合が有効求人倍率です。



## 今月のピックアップ 漁業センサス～水産業の国勢調査～

- 漁業センサス調査は、5年ごとに農林水産省が実施する基幹統計調査です。日本国内の漁業の生産構造、就業構造及び漁村、水産物流通・加工業等の漁業を取りまく実態を把握し、水産行政の推進に必要な基礎資料を整備することを目的としています。
- 令和5年漁業センサスの漁業経営体調査(海面漁業)によると、全国の漁業就業者数は121,389人で、5年前に比べ20.0%減少しており、昭和38年の19.4%になっています(図表1)。
- また、漁業就業者数を年齢階層別にみると、65歳以上の割合が全体の39.2%を占めており、年齢層の高さがうかがえます(図表2)。  
また、個人経営体を後継者の有無別にみると、「後継者なし」の割合は全体の83.1%となっており、後継者不足が懸念されます(図表3)。



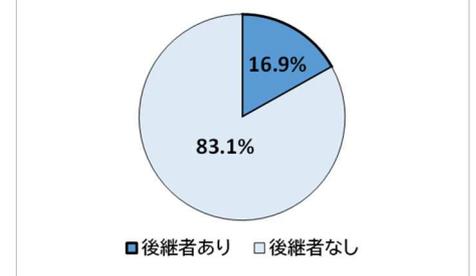
【図表2】年齢階層別漁業就業者数

(単位:人)

調査年	合計	15～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65歳以上
平成 25 年	180,985	5,485	15,503	21,445	29,456	45,463	63,633
平成 30 年	151,701	5,092	12,949	18,668	24,021	32,854	58,117
令和 5 年	121,389	4,011	10,299	15,787	19,376	24,387	47,529
前回比 (%)	△ 20.0	△ 21.2	△ 20.5	△ 15.4	△ 19.3	△ 25.8	△ 18.2
構成比 (%)	100.0	3.3	8.5	13.0	16.0	20.1	39.2

農林水産省「漁業センサス」を基に作成

【図表3】後継者の有無別個人経営体数



- 令和5年漁業センサスでは、水産エコラベル認証(生態系や資源の持続性に配慮した方法で漁獲・生産された水産物を消費者が選んで購入できる商品にラベルを表示する仕組み)の取得状況、輸出の状況、漁業共済への加入状況の調査項目が新たに追加されました。調査結果は、水産資源の持続的利用の推進や国際取引を含めた国産水産物の消費拡大、漁業就業者の経営安定等、今後の水産行政を検討していく上での重要な資料となります。